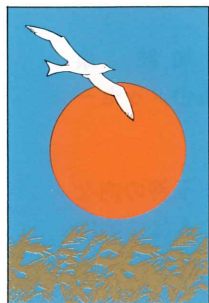


ROTARY
INTERNATIONAL



ガバナー月信1991.8.
AUGUST No.3

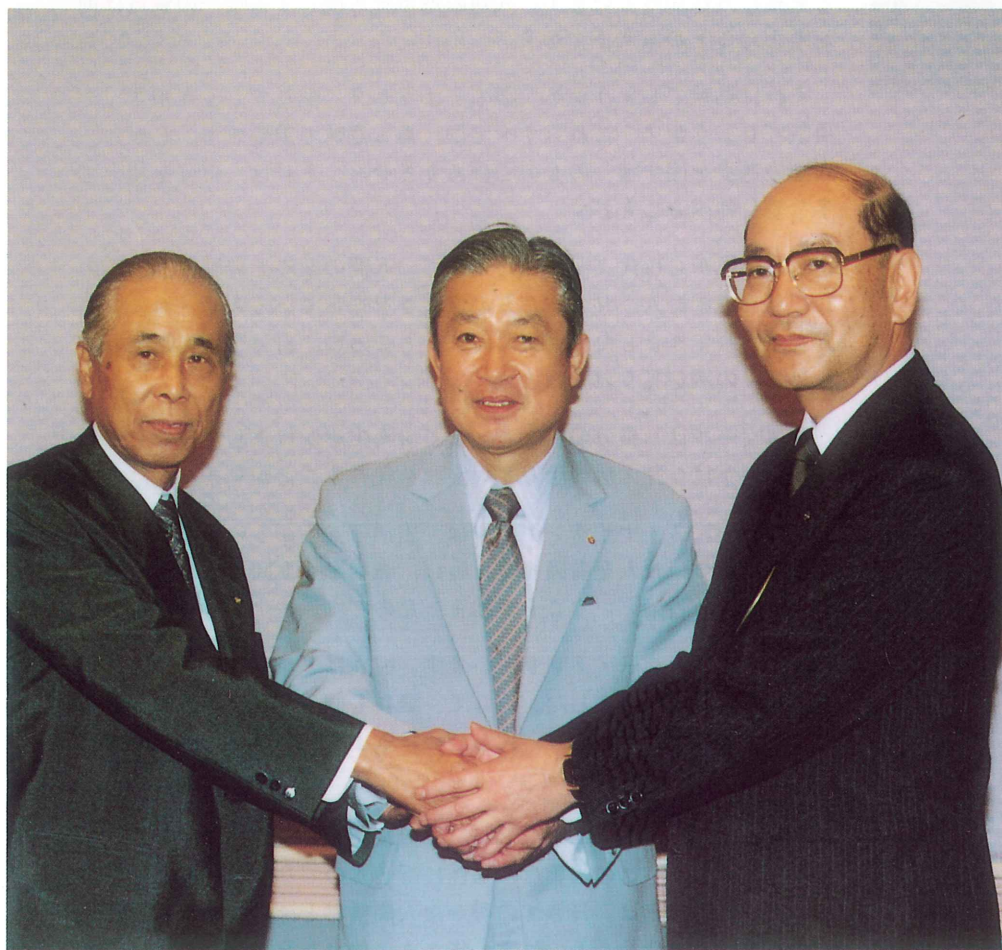


DISTRICT 2760〔愛知〕

1991～1992年度、国際ロータリーのテーマ

自分を 超えた 眼を Look Beyond Yourself

R.I.会長／ラジェンドラ・K. サブー R.I.理事／蔵並定男



最初のガバナー公式訪問「名古屋ロータリークラブ」に於いて

1991～1992国際ロータリー第2760地区

ガバナー

加 納 泉

事務所／〒460 名古屋市中区錦一丁目19番30号
名古屋観光ホテル内527号室
TEL (052) 221-1877 FAX (052) 221-1885

Governor's
monthly
letter

R.I.会長よりのメッセージ



ラジェンドラ・K. サブー会長よりのメッセージ

ガバナー 加納 泉

今年4月、アナハイムにおける国際協議会のサブー会長のメッセージの抜粋であります。

誰の心にも、世代、国家にかかわりなく、悪に立ち向かう善の内なる闘いがありますが、自分本位を追い求めていくと、私たちはこの内なる闘いを見失ってしまうのではないのでしょうか？

多分、私たちは見失いません。人類を高め、前進させる力があることを私たちは知っています。人類の進歩を可能にする唯一の資質は何か考えたことがありますか？

それは勤勉でしょうか？ 夢でしょうか？ 熱意でしょうか？ 勇気でしょうか？ これらすべては、ある意味で重要です。しかし、人類の進歩を促す唯一のものではありません。それは、自分を越えて手を差し伸べることです。

石器時代から現代文明にいたるまでの人間の進歩と発展は、無私の心で与えてきた人、与えることの偉大さを知っている人の行為にいつも支えられてきました。歴史のいたるところに、自分を越えた眼をもった人々の例が見うけられます。

パスツールは、自分の科学者としての人生をかけました。そして、以後、人々は、狂犬病の恐ろしい症状を免れることができました。

フローレンス・ナイチンゲールは、生活の安らぎというものをすべて捨て、傷ついた人を看護するために、戦場を走り回りました。彼女のおかげで、看護ということが始まったのです。

現代では、マザー・テレサがいます。彼女はアルバニアで生まれ、若くしてインドに来ました。そして、誰にも顧みられない人間が多少なりとも尊厳をもって生き、死んでいけるように自分の一生を捧げました。

LOOK BEYOND YOURSELF (自分を越えた眼) について、考えてみましょう。この言葉は、知性に訴えるのではなく、行動を表しています。この言葉は、皆さまの豊かな人間精神と深い信念から行動があふれ出るよう命じるものです。皆さまの善良さを行動に結び付けます。新しい視点へと転換し皆さまの家族、ロータリー・クラブ、地域社会、国、世界、更には人類という家族に向けて、自分を越えた眼を持ち始めます。

そのとき、もう異邦人は存在なくなり、全世界が家族となります。

ロータリーにとって発展とは、単に数だけを必要としているのではないということを念頭に置いて下さい。私たちが必要としているのは優れた人です。自発的にロータリーの目的を推進し、ロータリーに触れて、その天分に磨きがかかるような人が必要なのです。

ロータリーの発展は量だけでなく質を伴うということをロータリアンの知性、心、手に訴えかけましょう。会員増強と新クラブの拡大における質の重要性を認識しましょう。量か質かを選ばなければならない、という神話を打ち砕きましょう。ロータリーには二つとも成し遂げる天分があるのです。

世界はロータリーに不可能なことを求めませんが、卓越していることは間違いなく期待しています。ロータリーが世界から尊敬されるだけの値打をもてるように、また、その真のイメージを表現できるように、クラブ例会の運営、人的・物的資源の動員、私たちの計画の遂行、ロータリーの拡大拡張、指導者の選出などの方法に常に質を重んじましょう。

1991-92年度には公式の会長賞プログラムは行いません。その代わり、自分との競争に重点を置きましょう。生きるうえでの本分は、他の人に先んじることでなく、前進することです。…自分の記録を破り、昨日を上回る成果を上げるということです。ですから、皆さまは、「他の人を上回る数字を残せ」と激励するのではなく、少しでも前進しようと努めつつ「以前より一層奉仕せよ」というように各ロータリー・クラブを励ますことになりましょう。

皆さまの人生において最も栄光あるときは、いわゆる成功を収めた日々でなく、人生の難関に挑戦し、将来の業績が有望であるとの手ごたえをひしひしと感じた日々なのです。

私たちの善行は、私たちが力を与えた人々の生活に恒久的な影響を与え、私たちの奉仕の成果は私たちの死後も長く世界に活力と勇気を与えるということを忘れないようにしましょう。

LOOK BEYOND YOURSELF を指針とし、力をあわせて、ロータリーの光で世界を輝かせましょう。



会員増強月間に因んで

会員増強月間に因んで増強のご案内

国際ロータリー第2760地区 会員増強委員長 嶺木 一夫

会員増強の必要性・重要性は、今更私が申し上げるまでもなく皆様ご承知の事と思いますが、8月は会員増強月間になっておりますので、一言ご案内方々各クラブの皆様、殊にクラブ会員増強委員長をお願い致します。

国際ロータリー本部では、『**会員増強はロータリーの生命源**』であり、ロータリーにとって『**必要不可欠な栄養素**』であり、増強が無ければ組織は衰退し、死滅するものでそれは、ロータリーの活性化、発展の為必要スくべからざるものとなり、R Iとしては毎年殊更に重要問題として取り上げております。そこでR Iでは、『**会員増強無くして理想の奉仕は出来ない**』と迄言われておりまして、あらゆる奉仕活動に優先してR Iの至上命令となっております。

では、質の問題はどちらかと言いますと、数と質は永遠の問題として意見の分かれるところでございますが、一つの意見としては、数は力の要素であって初めて質の向上が考えられますので、先ず増強しかる後、先輩会員の温かい心で新入会員の質の向上を計って頂きたいと思えます。只ロータリーには職業分類等々種々の入会条件がありますので、定款細則に則って行なうて頂きたいと思えます。

それでは、外国の例、特に日本と一番親しい米国との比較を下表で示します。

(1)日本ロータリー支局調べ(1889-90年度)

	米 国	日 本
ク ラ ブ 数	7,087 R C	1,917 R C
会 員 数	411,549人	114,263人
人 口 数	24,633万人	12,274万人
一人当りの国民所得	19,500ドル	23,200ドル
G N P (89年)	5兆2340億 \$	2兆8363億 \$
債 権 ・ 債 務	▲5,325 \$	4,321 \$
経済実質成長率(89年)	2.50%	3.75%



(2)目標 (米国の半分位が妥当)

クラブ数=米国7,087その半分3,543は、日本の1,917で1,626の不足である。

会員数=米国411,000人その半分205,500人に対して91,000人の不足である。

日本の当面の目標は、この不足分を補充して米国の半分くらいに増強して、ロータリー活動に奉仕と親睦に邁進すべきであるとのこと。

増強率も、R I本部の10%の要望に対し、その半分にも達しない。因みに89-90年度は4.2%(拡大も含む)である。尚、加納ガバナーも会員増強には大変関心が深く、帰する所は大でありますが、然りとてあまり無理すること無く、実増3.5%(増強のみ)ぐらいいは確保して頂きたいとのことです。

(3)経済大国日本としては、会員増強は不十分である。

前に申し上げました通り、1万人当りの人口で日本はたった9.3人で米国の16.7人の約半分、尚、一人当りの国民所得は、米国の1.19倍であります。従って、経済大国の日本は、もっと会員数を増やして、世界の平和・奉仕に貢献することが必要であると感じられます。

次に会員増強を計るアプローチの一部を簡条書で申し上げます。

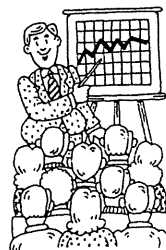
- (イ) ロータリアン自身が誇りを持たなければ、他人を勧誘する資格は全くない。
- (ロ) ロータリーの奉仕及び広報活動を通じて、会員増強の認識度を高めることが必要である。
- (ハ) 会員増強は、クラブ会員の個々の責任と義務である事を徹底させること。
- (ニ) 会員増強月間を設定し、この月間中に職業分類の見直し、新会員を発掘、会員増強の為のクラブフォーラムを行なうこと。
- (ホ) クラブ限界内の総ての会社、事業所の大小を問わずリストアップして、入会者を探すことが大事である。(電話帳にて)

最後に、消極的な会員増強として『退会防止』という問題があります。

『会員は、死亡・病気・転勤等の自然を見込んで差し引き何名増にするか。』これを年度初めに会長・幹事さんとよくご相談の上、『何名何％増』と、具体的な目標設定をすることが大切であり

ます。

亦、国際ロータリー本部としては、純増が目的でございますので、退会防止も重要でございますが、これはクラブ全体の問題であり、一委員会としては、充分対応出来ませんが、折角入会してロータリアンになられましたので、ロータリー活動に積極的に参加して頂き、『ロータリアンの誇り・価値・神髄・真価』をよく理解して、『奉仕と親睦』を柱にロータリー活動を通じて生き甲斐ある楽しい生活をして頂くよう、先輩ロータリアンは、ご尽力賜りますことを、増強委員はご認識頂くようお願い致します。



意義ある業績賞にご応募下さい

意義ある業績賞に応募の要領について

“意義ある業績賞”とは、ロータリークラブの奉仕活動の中で最も意義ある業績にふさわしい証明が与えられるものに表彰するプログラムであって、各地区の地区ガバナーが受賞クラブを選ぶものと定められています。

そして、地区ガバナーが意義ある業績賞の受賞クラブを選定する場合の参考基準を挙げますと次の5項目となります。

- (1) その事業が地元の地域社会において或いはその土地のみに限らず、誰の目からも重要と見られている問題またはニーズを対象とするものでなければならない。
- (2) その事業が単なる金銭的な奉仕でなく、クラブ会員の大半または全員が直接参加するようなものでなければならない。
- (3) その事業が他のロータリークラブもこれと競争して行うことができるようなものでな

ければならない。

- (4) その事業が当該年度に始められたものであることを要しないがその事業が現に実施中のものであること、もしくは、その表彰の行われるロータリー年度に終わられるものであることを立証するものを提出しなければならない。
 - (5) いかなるクラブも同一事業について重ねて業績の認証を受けることはできない。
1. 意義ある業績賞選考委員
委員長 高沢 隆 (パスト・ガバナー)
委員 盛田 和昭 (パスト・ガバナー)
委員 中村 繁男 (直前ガバナー)
委員 加納 泉 (ガバナー)
 2. 申請書提出締切日……………11月末日必着
 3. 申込書提出先……………地区ガバナー事務所
内・地区選考委員会
 4. 申込書書式……………自由

インターアクトクラブ協議会

第2回(通算第28回)国際ロータリー第2760地区

インターアクトクラブ協議会

豊川閣妙厳寺で開催



7月21日(日)・22日(月)第2760地区インターアクトクラブ協議会が豊川インターアクトクラブ主催、ホスト・豊川ロータリークラブで、「ここに集えインターアクト」をテーマに、豊川閣妙厳寺(豊川稲荷)で開催された。当日は、加納泉ガバナー、愛知県教育委員会教育長・小金潔氏、豊川市長、高沢・中村両パスト・ガバナーを始め、多数の来賓各位の臨席をえて、第2回(通算28回)地区インターアクト協議会が、参加生徒、顧問教師、ロータリアン関係者約500名が出席して盛大に開催されました。

今回は、豊川高校インターアクトクラブと豊川ロータリークラブの特別のご配慮により、宿泊を挟んで、十分な討論とインターアクト同志の交流が行われました。

日程

(第1日) 7月21日(日)

- (1) 受付・登録 11:00～12:30
- (2) 昼食 12:30～13:30
- (3) 開会式 13:50～14:30
- (4) 学校紹介 14:30～14:40
- (5) 分科会

第1分科会 精神薄弱施設でのボランティア活動。

第2分科会 老人ホームでのボランティア活動。

第3分科会 国際理解。

第4分科会 インターアクトクラブの諸問題。

第5分科会 手話。

- (6) 入浴 16:20～17:20
- (7) 夕食 17:30～18:10
- (8) 交流会 18:30～20:00
- (9) 入浴 20:00～20:50
- (10) 消灯 21:00

第1分科会より第5分科会では、講師の先生の専門分野の体験発表と熱心に解り易く説明があり、インターアクトと共に熱心に討議がされ感銘を受けました。

夜の部の交流会では、ハワイヒロ高校インターアクト顧問、メロー西田先生が英語と日本語で、「アメリカでのインターアクトの活動」についてスピーチされました。特にインターアクトは、国際的に活動する、即ちインターアクトは国際交流である。語学は、苦勞して勉強して初めて、目的を達成できると述べられました。亦これからの協議会の時は、各学校単位ではなく各学校が互いに入りまじって、交流活動をして下さいと要望されました。

第3分科会「国際理解」では、アラスカより来日の留学生 Keri Mc Coyさんとハワイのメロー西田先生が講師として出席され、日本に来ての感想を述べ、国際理解を深めました。

インターアクトの活動は、社会奉仕と国際理解・国際交流の二つに大きく分けることができます。平成6年度からの新高等学校学習指導要領においても「心豊かな人間の育成」と「国際理解の推進」が大きな柱として取り上げら

れております。この意味でも、このインターアクトクラブの活動は、まさに時代と社会が今求めているものであると、愛知県教育委員会の小金教育長が述べられております。

ロータリークラブは、奉仕の理想を掲げております。奉仕の理想とは、他人のことを思いやり、他人のために役立とうとする思いやりの気持ちを実行に移すことであります。

7月28日より8月3日まで、インターアクト海外派遣団(ハワイ)が、愛知より22名、長野より10名、合計32名が海外研修に出発致します。代表



として国際理解・国際親善を深めていただきます。

(第2日) 7月22日(月)

- (1) 起床 6:00
- (2) 参拝 6:30~7:30
- (3) 朝食 7:40~8:20
- (4) 閉会式 9:00~9:30

○分科会報告

- 第1分科会 一宮女子高校 佐藤 由江
- 第2分科会 安城学園高校 伊藤 早苗
- 第3分科会 津島女子高校 寺本 京子
- 第4分科会 岡崎女子高校 清水 珠生
- 第5分科会 豊川高校 山本真理子

○講評 第2760地区インターアクト委員長
松前 憲典

○次年度ホストクラブ発表

豊田高等工業専門学校インターアクトクラブ。
豊田ロータリークラブ。

豊田工専の小倉三佳代表が、来年のホストクラブとして、多数の皆さんが参加して下さいと歓迎のあいさつを行いました。

(地区インターアクト委員長・松前憲典)

財団奨学生('92~'93)のためのガイダンス行なわれる

第2760地区ロータリー財団委員会 委員長 堀田逞二

平成3年7月21日(日)午前10時より名古屋駅前毎日ビル9階の国際サロンにおいて、先日、選考試験に合格し、'92~'93年度に第2760地区より海外へ派遣される奨学生のための留学ガイダンスが行なわれました。

財団委員会より堀田財団委員長、成田財団奨学会委員、深見財団学友会委員長の各役員、財団学友の二村直美さん、同榎本尚代さん、同羽佐田理恵さんらを迎えてロータリー財団奨学生の役割、心がまえ、留学するための準備、受け入れロータリークラブとの連絡、カウンセラーとの接触、国際親善活動、スポンサークラブへ

の留学中の連絡と報告、帰国後の報告と活動などについて、詳細に説明や指導がなされ、ガイドブックが配られました。

そして実際に留学が実現するまでには、手続きのスムーズな履行が、不可欠であり、そのために必要とされる情報、ノウハウについては、学友会の会員であり、すでに留学より帰って来た先輩諸氏からの貴重な体験を役に立てることがベストであるため、これらの先輩たちの住所電話番号が奨学生に示されました。

約3時間の会議、懇談会が熱心に密度濃く行なわれ、奨学生からいろいろな質問が活発に出され、非常に有意義な会になりました。

(文責深見)

地区国際奉仕委員会及び関連(小)委員会

第2回地区国際奉仕委員会及び関連(小)委員会
会議報告

第2760地区国際奉仕1991-92年度委員会 委員長 安藤 幸治

平成3年6月13日午後3時より、ホテルキャッスルプラザ会議室に於いて、地区国際奉仕委員会地区世界社会奉仕(小)委員会、ロータリーボランティア活動(小)委員会、ロータリーボランティアコーディネーター(小)委員会の各委員長及び委員により標記の会議を開催しました。中程に盛田和昭カウンセラーも一時同席、1991-92年度中の委員会運営及び活動方針に就いて、活発な討議を行いました。主な決議内容は次の通り。

●地区国際奉仕委員会

(1)国際奉仕委員長会議を次の日程で開催する。

平成3年8月8日 午後2時～4時30分

名古屋第一・第二・尾張第一・東西尾張、計5分区内各クラブ。

平成3年8月9日 午後2時～4時30分

三河第一・第二分区内各クラブ。

(2)世界社会奉仕委員会委員と共同して、「2760地区WCSタイ視察旅行」を実施する。

実施の時期：平成3年11月下旬

日 程：4泊5日の予定。

旅行代理店：名鉄観光サービス(株)名古屋中央営業所

現地にての旅程：336地区世界社会奉仕委員長スミン氏(パストガバナ)と折衝の上、後日決定する。

380・381地区の訪問：地区委員及び有志参加者により、タイ国にての日程終了後、マニラに2泊3日の旅行延長を行い、380・381地区を訪問する。

目的は同地区にてのWCS活動の実施。

(3)スライド映写機1基を地区国際奉仕委員会の予算にて購入する。(過去2年間、西春日井ロー

タリークラブ所有の映写機を連続借用の儘、度々の使用に利用しておりました。)

(4)地区国際奉仕関連各小委員会との連絡を密にし、協力して奉仕活動成果の向上の努力する。

●地区世界社会奉仕(小)委員会

(1)地区世界社会奉仕事業資金の運用方法を次の通りとする。

①所定の期日までに申し出のあったクラブに対しては、800円に会員数を乗じた金額を配布する。受領したクラブは、それを独自のWCS予算に加算してWCS活動に使用するものとする。

②残余の資金の一部を上記の申し出のなかった複数クラブの連名、又は地区名にて地区委員会が地区内全クラブの指標(模範)となるWCS活動の代行を行なう。奉仕プロジェクトは、「奨学資金としての寄付」、「公立病院に医療器具及び医薬品代の寄贈」、「無公害緑地公園地帯開発運動への協力」(以上は既に、380・381地区より紹介のあったもの。)等を更に検討の上、決定する。

③一部は従来通り、地区委員会活動の経費に充当する。

(2)地区委員会によるWCS活動に就いては、「ロータリー財団特別同額補助金」の交付申請を行なう。

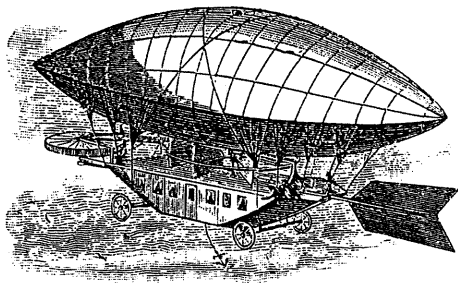
(3)各クラブのWCS活動を推進する為、次の事を行なう。

①国際奉仕委員会と共催による「地区WCSタイ視察旅行」の実施。

②「1991-92年度地区WCS活動推薦プロジェクト一覧表」を作成、全クラブに下記アンケートと共に配布する。(此れは、クラブ独自でWCS活動プロジェクトを持っていない

クラブの為、336・380・381の3地区のガバナー及び地区役員と予め折衝の上、作成するもの。)

- ③「WC S活動に関するアンケート」を全クラブに対し、年度早々に行なう。内容はWC Sの予定、予算、奉仕プロジェクトの有無、地区委員会にWC S実施代行を委任する意志の有無、WC Sの予定のあるクラブよりの奉仕の内容等の回答を求める。(此れは上記(1)の①②に関連し、重要な資料となる。)
- ④今後、随時、委員会会議を開き、更に委員会活動の協議をする。



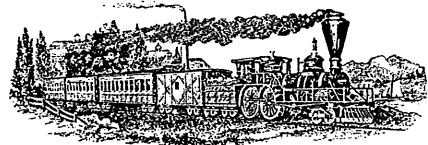
●ロータリー・ボランティア活動(小)委員会、及びロータリー・ボランティアコーディネーター(小)委員会

- (1)ボランティア活動に対するロータリー本部の指導方針の検討に努める。
- (2)全クラブに対し、ロータリー・ボランティア活動の案内書の送付・アンケートの実施等を行い、ロータリー・ボランティア活動に関する啓蒙に努力する。
- (3)地区WC Sタイ視察旅行に旅費全額を自己負担、貴重な就業時間を犠牲にして参加し、タイ国の僻地にて貧困者に接して行なう生活改善の為の活動は単に、WC S活動のみならず、ロータリー・ボランティア活動であると認定する。従って同旅行を当委員会の実績として関係先へ報告します。

長崎雲仙岳災害義援金

第2760地区の各クラブ寄付金額は下記の通りです。多額の義援金に対し心から御礼申し上げます。

尾張第一分区	知 多	44,000	西尾張分区	あ ま	92,000
	半 田	67,000		尾 西	63,000
	半 田 南	55,000		一 宮	98,000
	東 知 多	70,000		一 宮 北	85,000
	常 滑	65,000		稲 沢	52,000
名古屋第一分区	東 海	63,000	西 春 井	68,000	
	名 古 屋	245,000	尾 張 中 央	94,000	
	名 古 屋 南	107,000	津 島	80,000	
	名 古 屋 港	121,000	一 宮 中 央	54,000	
	名古屋瑞穂	100,000	渥 美	65,000	
	名古屋中	150,000	蒲 郡	74,915	
	名古屋西	100,000	奥 三 河	37,000	
	名古屋大須	100,000	新 城	65,000	
	名古屋栄	73,000	田 原	71,000	
	名古屋東南	96,000	豊 橋	118,000	
名古屋第二分区	名古屋名南	118,000	豊橋ゴールデン	77,000	
	名古屋名駅	87,500	豊 橋 北	114,000	
	名古屋千種	83,000	豊 橋 南	81,000	
	名古屋東	107,000	豊 川	81,000	
	名古屋北	110,000	豊 川 宝 飯	60,000	
	名古屋名北	71,000	田原パシフィック	53,000	
	名古屋名東	70,000	安 城	83,000	
	名古屋守山	133,000	碧 南	156,000	
	名古屋和合	110,000	一 色	41,000	
	東尾張分区	犬 山	166,000	刈 谷	38,000
岩 倉		42,000	西 尾	78,000	
春 日 井		100,000	岡 崎	109,000	
小 牧		75,000	岡 崎 東	80,000	
江 南		73,000	岡崎城南	74,000	
名古屋空港		73,000	岡崎南	100,000	
尾 張 旭		62,000	高 浜	60,000	
瀬 戸		44,000	豊 田	100,000	
瀬 戸 北		62,000	豊 田 東	80,000	
豊山城北		72,000	豊 田 西	100,000	
合計 ¥5,908,415-				豊田三好	26,000
				刈谷知立	46,000
				西尾KIRARA	40,000



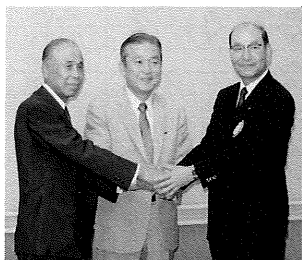
計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

- 7月14日 川村 要作 (名古屋西RC)
 8月4日 福西 憲郎 (名古屋北RC)
 8月5日 松尾 早苗 (豊橋北RC)

公式訪問だより

公式訪問 だより



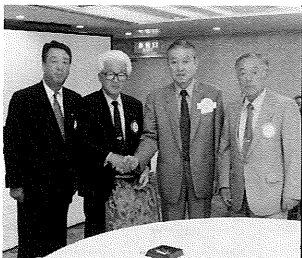
名古屋RC
1991年7月16日(火)
会長 龍 季夫
幹事 渡辺 文雄
会員数 238名

創立66年の伝統と風格をもったクラブ。近年
年令の若い会員、更に二世会員の入会が多く、
将来のクラブのために喜ばしいことであります。
各委員会活動は、そつなく広く網羅されてい
て、さすがに2760地区の範といえるクラブです。



名古屋港RC
1991年7月19日(金)
会長 篠田 頼明
幹事 住田 守
会員数 121名

会員全体に活力のみなざるハキハキとして切
れ味のすばらしい雰囲気クラブ。本年度はR
A部門別協議会のホストもつとめ更に当2760地
区大会のホストもお引き受けいただきご努力に
心から感謝申し上げます。願わくば、世界の有名
な港にあるクラブと姉妹提携を結んで頂きたい。



名古屋空港RC
1991年7月22日(月)
会長 加藤 俊夫
幹事 清水 忠雄
会員数 73名

創立17年のクラブにしては落ち着きと風格が
あり、例会の開催といい、各委員会の活動とい
い、さすがにガバナーを生んだクラブだけあつ
て、そつなく運営されている。各奉仕活動及び
海外クラブとの提携も、長期にわたる継続にて
行われているのに感心致しました。



豊川宝飯RC
1991年7月23日(火)
会長 永田 鈞山
幹事 内藤 泰通
会員数 60名

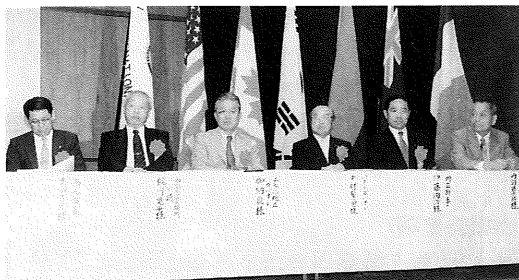
創立7年目のクラブであるが、昨年は豊橋で
の地区大会のコ・ホストを引き受けた若々しく
活動力のあるクラブ。永田会長は、風格のある
曹洞宗西明寺の住職で、この一年でより品格の
あるクラブに育てられることと期待しています。



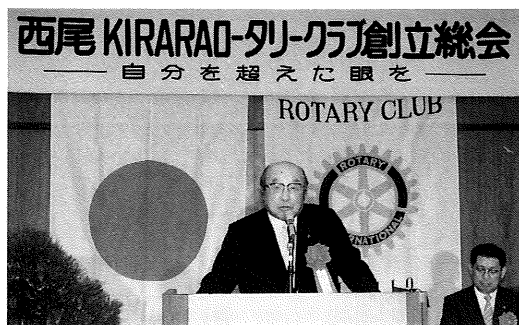
稲沢RC
1991年7月24日(水)
会長 永井 誠治
幹事 伊藤 強平
会員数 65名

創立28年のクラブにして会員相互の理解と親
睦が良く出来たクラブである。近年は若い会員
の増強に意をそそぎ、平均年令の若返りと増強
に成功された。新しい奉仕のプログラムや会員
に奉仕の喜びと活動のエネルギーを与えるよう
に只今、企画中です。

第2760地区ニュース・その他

西尾KIRARAロータリークラブ
創立総会開かれる

平成3年7月5日(金)、西尾信用金庫本店にて加藤 勉特別代表の下、西尾RCがスポンサーとなって西尾KIRARAクラブの創立総会が開かれました。



概 要

名 称 西尾KIRARAロータリークラブ
創立会員 52名
例会日時 毎週金曜日 (12:30~13:30)
例 会 場 西尾信用金庫中央支店 3F
事 務 局 〒445 愛知県西尾市永楽町3-45
TEL.0563-56-8000
FAX.0563-56-7196



文庫通信

〔ロータリー文庫〕は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして、1970年に設立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など(貸出可)、1万6千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、また文献・資料の在庫先のご紹介や、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

● My friend 1990~91 Rotary Information

D.277 1991年 141頁 (株)タナカ ☎0489-97-7621]

● ロータリーへのご案内

長岡成郎(杉戸RC) 1991年 42頁

[長岡産婦人科医院 ☎0480-33-3325]

● ロータリアン・ハンドブック〈用語解説集〉

岐阜南RC 1991年 52頁

[岐阜南RC ☎0582-64-9235]

● THE CHRONOLOGICAL TABLE OF
ROTARY CLUB (ロータリー年表)
EIGHTY FIVE YEARS

東京三鷹RC 1991年 30頁

[東京三鷹RC ☎0422-51-8181]

● 標準職業分類表1990年版

D.255 1991年 120頁 [D.2550 ☎0286-37-5301]

● 国際花と緑の博覧会 ロータリーのあゆみ

D.266 1991年 50頁 [D.2660 ☎06-346-3350]

【注. ご注文は〔 〕へどうぞ】

.....ロータリー文庫.....

TEL.03-3433-6456 / FAX.03-3459-7506

〒105 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館 7階

午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

第2760地区ニュース・その他

第1回地区諮問委員会開催



1991～92年度・国際ロータリー第2760地区の第1回諮問委員会が、7月6日(土) AM11:30より名鉄グランドホテルにおいて開催された。

〈協議事項〉

- (1)1990～91年度地区会計決算(案)承認の件
- (2)1993～94年度国際ロータリー第2760地区ガバナーノミニニー候補推薦の件

1991～92年度指名委員会のメンバー

地区指名委員長 田中 徹 (パストガバナー)

地区指名副委員長 高沢 隆 (パストガバナー)

地区指名委員 盛田和昭 (パストガバナー)

〃 中村繁男 (パストガバナー)

〃 加納 泉 (ガバナー)

- (3)1991～92年度「意義ある業績賞」募集と選考委員選任委嘱の件
- (4)1991～92年度地区大会企画委員委嘱の件
- (5)IM開催の日程とリーダーアドバイザー委嘱の件
- (6)インターアクトクラブ海外研修旅行及び地区協議会の件
- (7)第1・第3ゾーン、ロータリー研究会 (1991年12月・豊橋)開催の件

委員長 森 泰樹 PG 委員 加納 泉 G

副委員長 高沢 隆 PG 〃 神戸政治 GN

〃 盛田和昭 PG 顧問 奥谷博俊 PG

〃 中村繁男 PG 〃 福田浩三 PG

〃 田中 徹 PG

(8)地区大会、地区協議会のローテーション確認の件

(9)その他

21世紀万国博覧会誘致委員会協賛の件

全日本留学生ネットワークフォーラム名古屋'91の開催にともなう後援の件

わかしゃち国体実行委員会について

〈報告事項〉

(1)米山記念奨学会評議委員会について

(2)地区内クラブ拡大状況について

(3)ロータリー財団奨学生の選考結果について

(4)ガバナー月信購読状況について

(5)1991年7～8月、地区主要日程について

奥谷パストガバナーより



水漫々の……………

米山梅吉・その生涯

9月16日(月) 15:00～15:54 CBCにて

放送されます。

大正9年(1920)日本で最初のロータリークラブ「東京ロータリークラブ」を設立、ポールハリスとは同じ年に生を受け、米山梅吉の感動の生涯を、宿命的な運命を辿った梅吉とハリスの二人の人生を追いながら、アメリカ各地の取材映像と美しい旋律で綴るドラマ形式のヒューマンドキュメントです。ロータリアンの方々、是非みて下さい。



国際ロータリー第2760地区
ガバナー事務局ご案内

ガバナー事務所

〒460 名古屋市中区錦1丁目19番30号
名古屋観光ホテル内 527号室
TEL.052-221-1877 FAX.052-221-1885

ガバナー	加納 泉	医療法人 知泉会 加納病院 院長
地区幹事	伊藤 洵二	あいち醸造食品(株) 取締役社長
地区会計長	井上 文夫	井上文夫税理士事務所 所長
地区監事	久能木真人	日本オイルギヤ(株) 代表取締役社長
地区副幹事	栗田 義郎	サンメッセ(株) 専務取締役
地区副幹事	杉本 仁至	(株)杉本組 代表取締役社長
地区副幹事	大井 欽史	(株)金蝶堂 代表取締役
地区副幹事	沢井 孝郎	(株)名急社 代表取締役
地区補佐	酒井 尊夫	豊興業(株) 代表取締役
地区補佐	山口 道夫	都タクシー(株) 代表取締役社長
事務局員	河合 久子	